

各会議等の実施状況報告について		提出日	令和6年3月14日
		担当課	スポーツ・生涯学習課
会議名称 湖西市学校支援地域本部運営委員会 開催日時 令和6年1月31日（水） 9：30 ～ 10：15 開催場所 市民活動センター 大会議室 出席者（委員）6名 （教委）4名 【計10名】 ※傍聴者なし			
1 開 会 2 委嘱状の伝達 3 委員長あいさつ 4 教育長あいさつ 5 委員・事務局自己紹介 6 議事事項 （1） 令和5年度 湖西市「学校支援地域本部」事業報告について （事務局より説明） （2） 令和6年度 湖西市「学校支援地域本部」事業計画（案）について （事務局より説明） （3） 意見交換 （委 員） ボランティアの活動延べ人数が各校の調査票に記載されているが、ボランティアの登録人数はどのくらいなのか？ （事務局） 記載されているのは、実働人数である。正確な登録ボランティア数はこの場ではわからないが、ここに記載の人数と登録名簿人数に大きな差はないと聞いている。 （委 員） 知波田小の活動に参加しているが、子どもたちと接することによって、こちらにも勇気をもらえる。ボランティアをやってよかったと思う人が他にもいらっしゃるのではと思うので、ボランティアを集める活動もしていただくとありがたい。 （委 員） 長期休業中生活モニターボランティアという記載があるが、イメージが浮かばない。どのような内容になるのか。 （事務局） 夏休みなど、子どもたちが長期休みの際に、どのような生活の変化があるか地区のボランティアの方々が生活の様子を見守る活動になる。 （委 員） 同じボランティアでも、保護者を対象に募るボランティアと地域を対象に募るボランティアがある。どこの範囲で募ればいいのか考えることがある。職業体験など企業を対象にする交渉は敷居が高く感じる。企業との接点や窓口となる機能があると助かる。 （委 員） 東小などは、農業体験は身近な方々による地域の特性に合った活動がされているが、その他の活動は不足している。逆に他の街場の地区では農業体験が行いづらいのではないかな。もっと広がりを持った体験をいろんな地区で出来れ			

ばと思う。地震や災害時の避難等について、子どもたちはわからないことが多いのではないかと思う。地域活動と防災をリンクしたかたちで命を守るとの観点でコーディネートできるといいのではないか。

(委員) コミュニティスクールのホームページを立ち上げて、先生とコーディネーターとで、活動事例集が見ることができたり、ピンポイントで手伝いの依頼ができたりすることができるようになった。これをみんなが知ることができれば、活動がしやすくなると思う。

(事務局) この件については、承知をしている。関係者の方から活動情報をいただければ、随時更新ができるようになっている。たいへんいい試みだと思っている。

(委員) コロナ禍で出来なかった活動が、今年から再開されつつあり、コーディネーターも動いているところだが、ブランクがあって苦勞されている様子もある。市のモノづくり推進室では、企業の開発現場に子どもたちが触れる機会を増やしていこうと動いてくれていた。令和2年に職業体験などができる企業のリストができたが、コロナ禍になってしまい活動ができなかった。今年からコーディネーターの動きも増えてきて活用しだしている。モノづくり推進室も各企業と研修会をもって、触れ合う機会の創出をしてくれているので、徐々に学校と企業の連携もできつつあり、今後もっと広がっていければと考えている。

7 閉 会

以上